

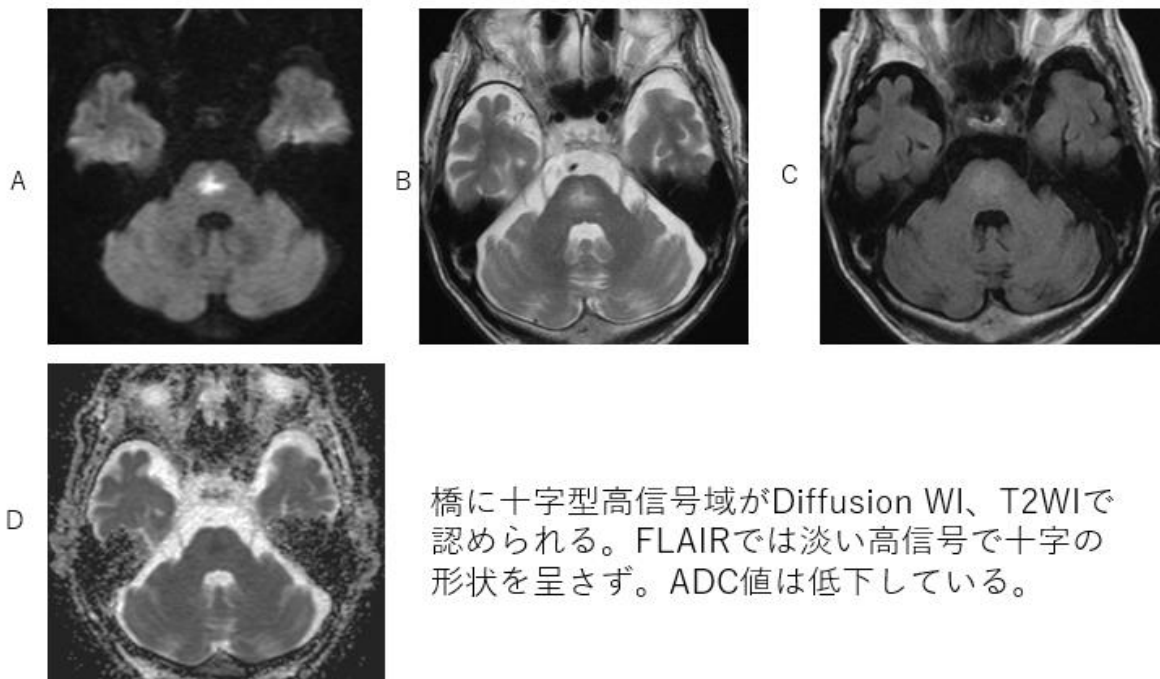
A Case of the Week

Case 415

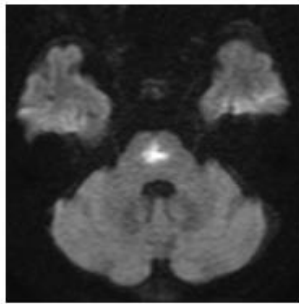
橋十字梗塞

今回の症例

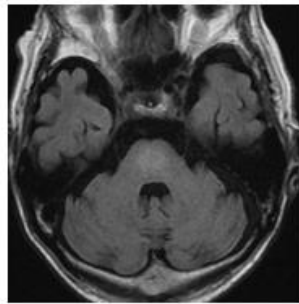
- Diffusion WIで 橋に 十字型 高信号
- 橋十字新鮮梗塞



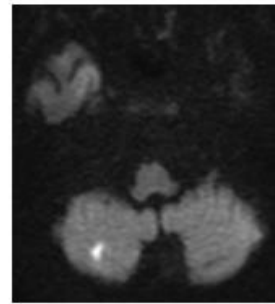
橋に十字型高信号域がDiffusion WI、T2WIで認められる。FLAIRでは淡い高信号で十字の形状を呈さず。ADC値は低下している。



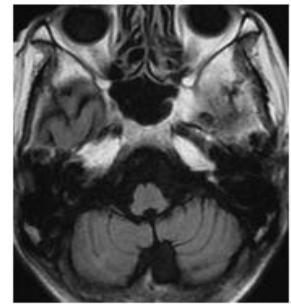
A



B

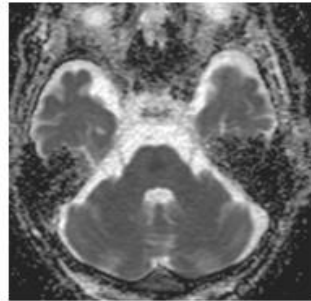


D



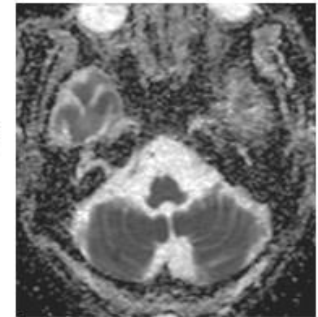
E

Diffusion WIで橋の十字型高信号はFLAIRではやや高信号
ADC値は0.473であった。



C

Diffusion Wでの右小脳半球の高信号はFLAIRで淡い高信号、ADC値は0.418であった。



F

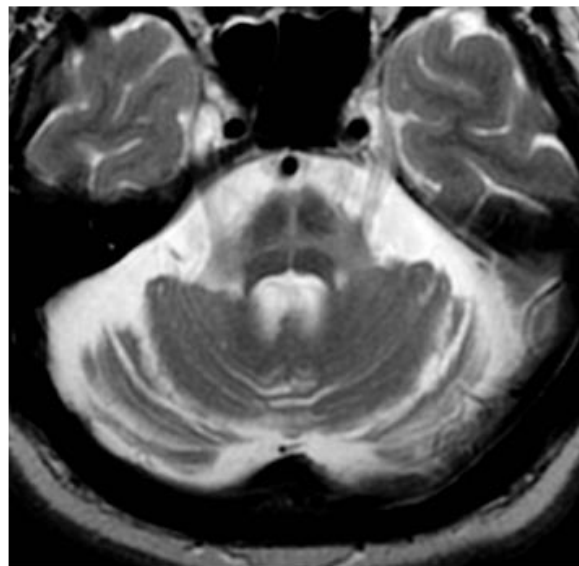


Hot cross burn sign

T2WI FLAIR

横軸：橋小脳路

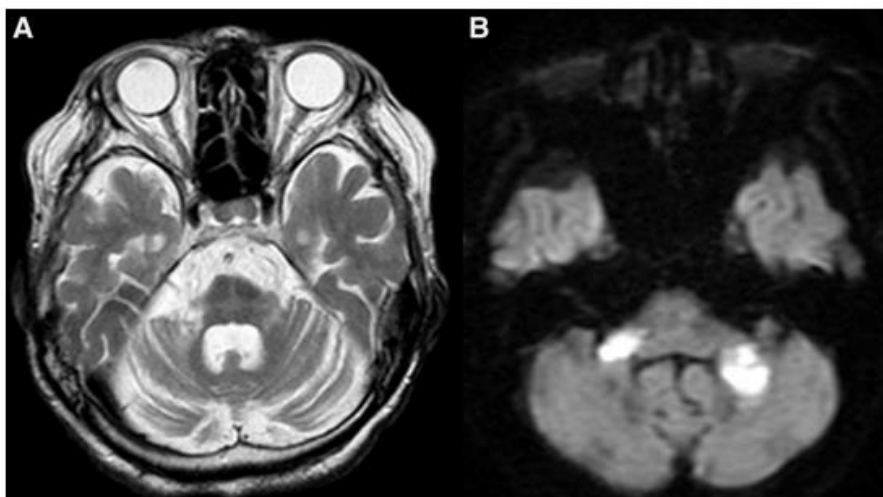
縦軸：網様体



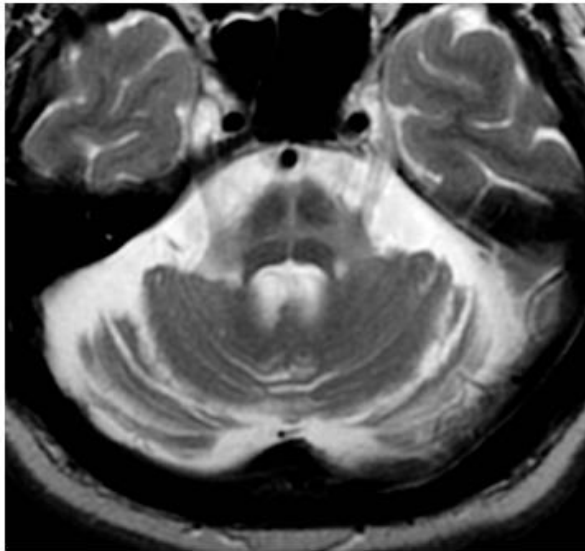
本来は多系統萎縮でみられる

神経ニューロンの消失と gliosisによる変化

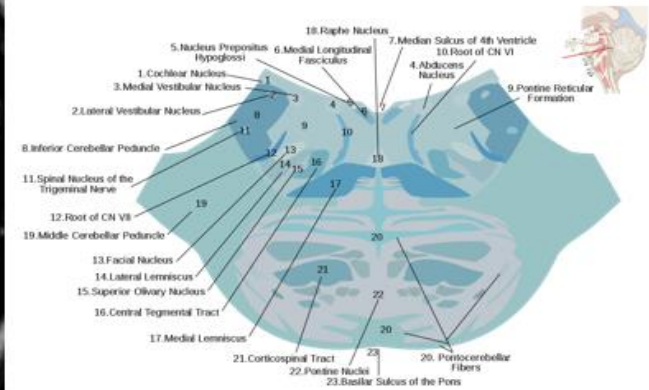
Multiple systemic atrophy : T2/FLAIR hyperintensity forms a cross on axial images



両側の中小脳脚の急性梗塞の差異に生じた。



縦軸にRache nucleus 縫線核



横軸に橋小脳路

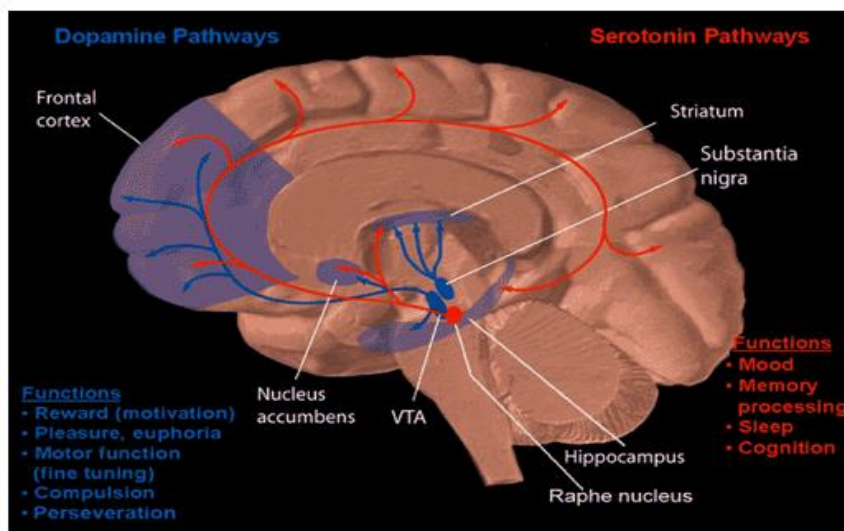
Rache nucleus：縫線核 脳幹中央を縦に走行

- ・ 網様体
- ・ 神経伝達物質：セロトニンの産生
- ・ 機能

アドレナリン ドーパミンの緩和

覚醒に関与

うつ病治療



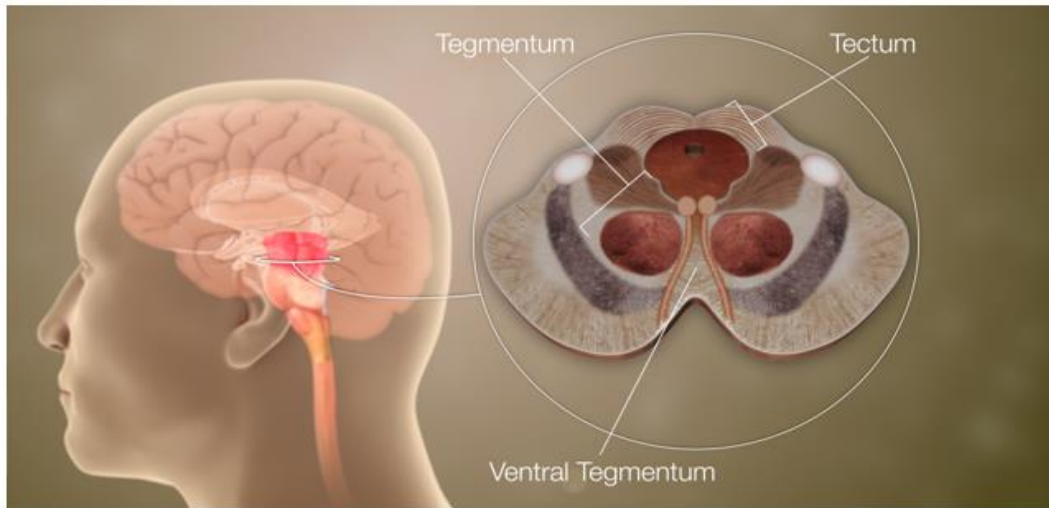
ドーパミンとセロトニン

分布は重なる

ドーパミンの機能を緩和

錐体外路へは黒質からドーパミン分泌

大脳やせき髄へは
VTA: ventral Tegmental area
腹側被蓋野

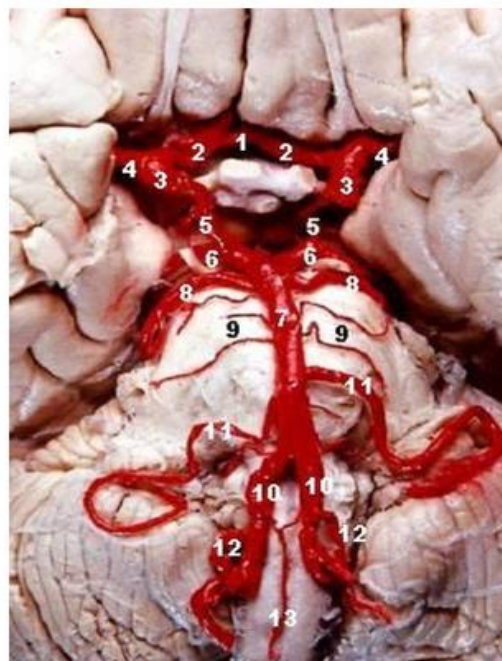
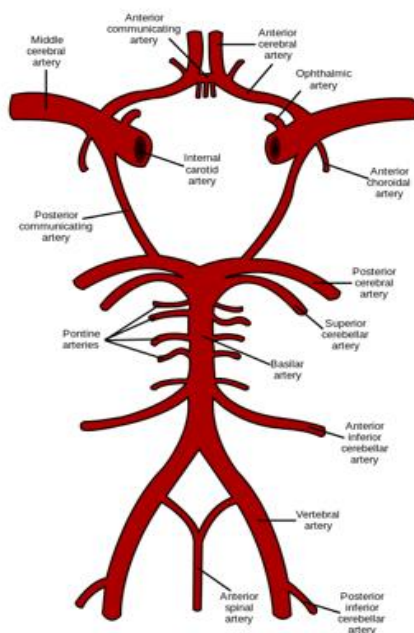
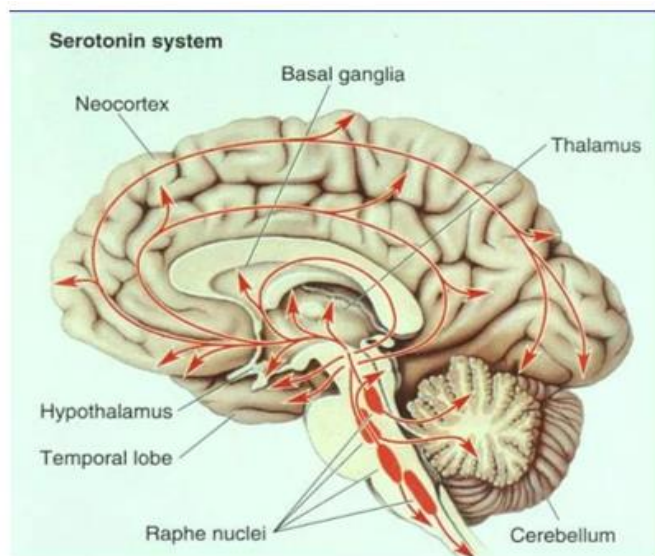


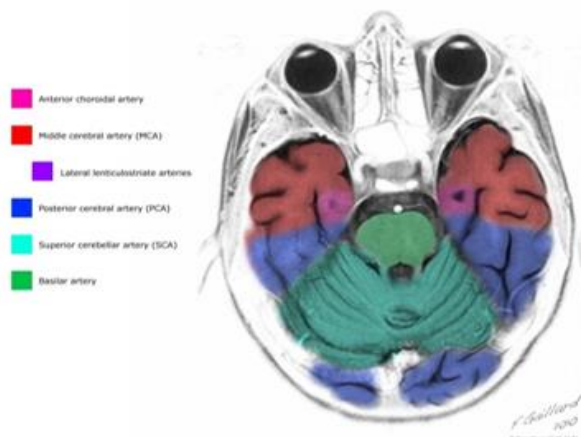
腹側被蓋野 VTA : ventral tegmental area

セロトニン：
Raphe nucleus
縫線核から産生

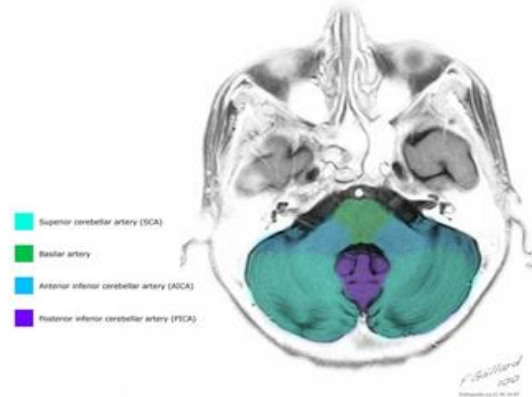
大脳：
ムード
覚醒・睡眠
記憶
認知

脊髄：痛み緩和





橋は脳底動脈からblood supply



中小脳脚は前下小脳動脈からblood supply

橋十字新鮮梗塞

- 十字の横線：中小脳脚
- 十字の縦線：Raphe nucleus 縫線核
網様体 セロトニンを分泌
大脳皮質と脊髄に経路

セロトニンの機能

大脳：ドーパミン アドレナリンの緩和
覚醒

脊髄：痛みの緩和

Twelve pairs of Cranial Nerves

- I Olfactory. N
- II Optic. N
- III Oculomotor. N
- IV Trochlear. N
- V Trigeminal. N
- VI Abducent. N
- VII Facial. N
- VIII Vestibulocochlear. N
- IX Glossopharyngeal. N
- X Vagus. N
- XI Accessory. N
- XII Hypoglossal. N

